

成田 我洲（なりた・がしゅう）

1、プロフィール

川柳作家。弘前川柳社創立同人で初代代表。のちに青森県川柳社創立同人となり、県柳壇の発展に尽力した。

<生没>

1895(明治 28)年2月4日～1976(昭和 51)年1月 16 日

<代表作>

句集『陽炎』

<青森との関わり>

函館市生まれ。弘前市にて歯科診療所開設。弘前市社協評議員等多数の役職を勤める。

2、作家解説

明治 28 年2月4日函館市生まれ。本名松雄。

大正 7年東京歯科医学学校卒。大正 15 年弘前市に歯科診療所開設。弘前市歯科医師会会長。弘前社協役員等、他数の役職を勤める。

昭和 10 年川柳入門。同年弘前川柳社を創立し代表となる。創立同人は福井軟水、藤本文茶、宮本紗光、蓮見漢郎、坂本酒仙、比内素浪人、平尾上魯、鳴海のぶを、佐藤しげる。

昭和 11 年機関誌「りんご」創刊。昭和 40 年古稀になるまで代表を勤めた。この間、自宅を句会場として開放し多数の柳人を育成した。

昭和 23 年青森県川柳社創立同人となり、県川柳社を陰ながら支えた。弘前川柳社代表を降りた後も資金を提供するなど弘前川柳社の発展に尽力。現在の弘前川柳社の基礎を造り育て上げたと言えよう。

昭和 51 年2月 16 日死去。(享年 81 歳)。昭和 48 年6月、隣松寺境内に「陽炎のようにいたわる老夫婦」の句碑建立。

3、資料紹介

○『句集・随想 ふるさと』

図書

1965(昭和 40)年8月1日

190mm×130mm

作者の古稀を記念して出版された初めての句文集である。これまでの川柳作品と発表して来た随想を1冊にまとめた作者の人柄のにじむ本である。

発行者 成田松雄 発行所 弘前川柳社

○句集『陽炎』

図書

1982(昭和 57)年5月10日

195mm×140mm

作者の七回忌を記念に出版された遺句集である。昭和10年から昭和50年までの作者の作品を1冊にまとめている。序文は西島○丸。

発行者 成田裕 編集者 宮本紗光 発行所 弘前川柳社